

景況レポート

(8月分・情報連絡員80名)

業況の悪化割合が減少

【概況(全体)】

8月分の県内景況は、前年同月と比較して景況が「好転」したとする向きが8.8%(前回調査8.8%)、「悪化」が28.8%(同37.5%)で、業界全体のDI値は-20.0となり、前月調査と比較し8.7ポイント上回った。

全国及び東北・北海道ブロックとの比較では、本県の景況DI値は、非製造業では全国及び東北・北海道ブロックを上回ったものの、製造業が低調であったことから、全体のDI値は全国及び東北・北海道ブロックを下回り、低調に推移した。

【業界別の状況】

業界別では、鉄鋼業で好転割合が増加し、商店街、サービス業を始めとした他業種で業況の悪化割合が減少したため景況感が好転した。なお、全体の景況感は、大雨被害や天候不順による物価高騰や需給不調が夏物需要を大幅に減退させていることに加えて、原材料や人件費等の経営コスト上昇も進展していることから、利益率の低迷と供給力の減退が一層逼迫している。

<全国及び東北・北海道ブロックとの景況DI値の比較>

	秋田県	全 国	東北・北海道
全 体	-20.0	-16.7	-18.9
製 造 業	-25.0	-15.9	-19.4
非製造業	-16.7	-17.3	-18.6

<景況天気図>

項目	業界の景況	売上高	販売価格	取引条件	資金繰り	雇用人員
製 造 業						
非製造業						

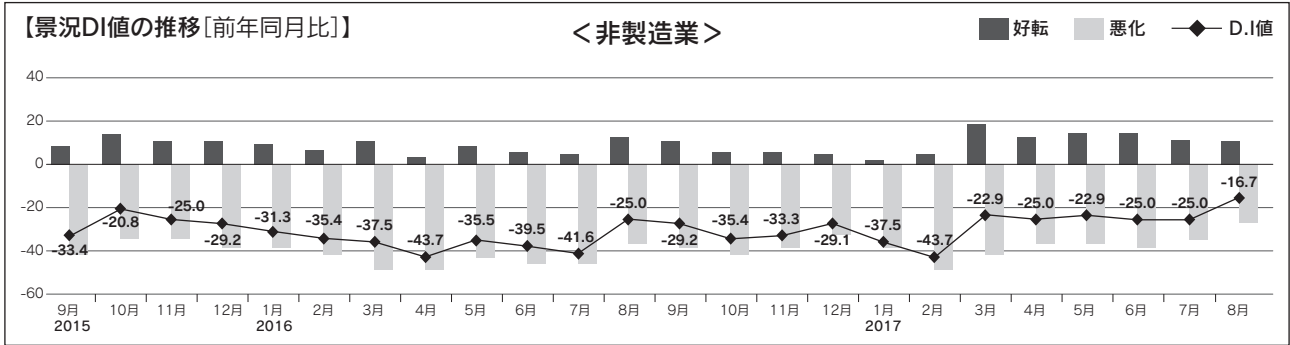
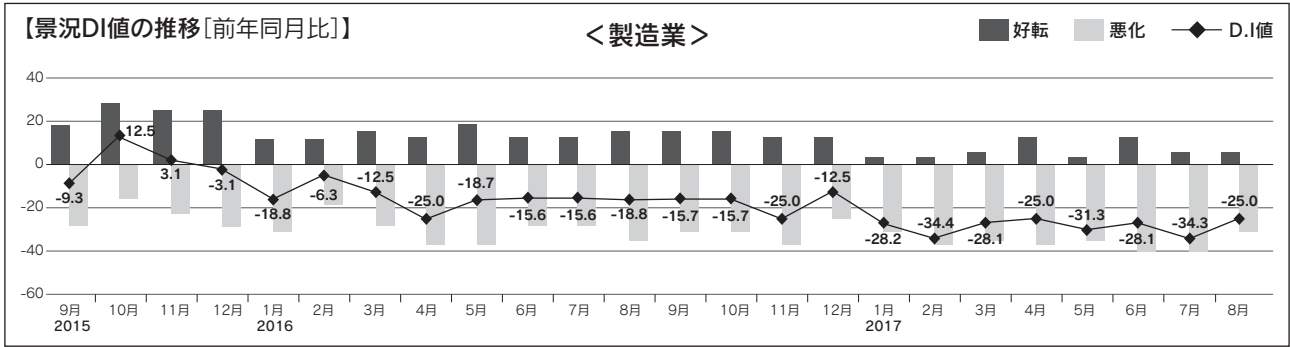
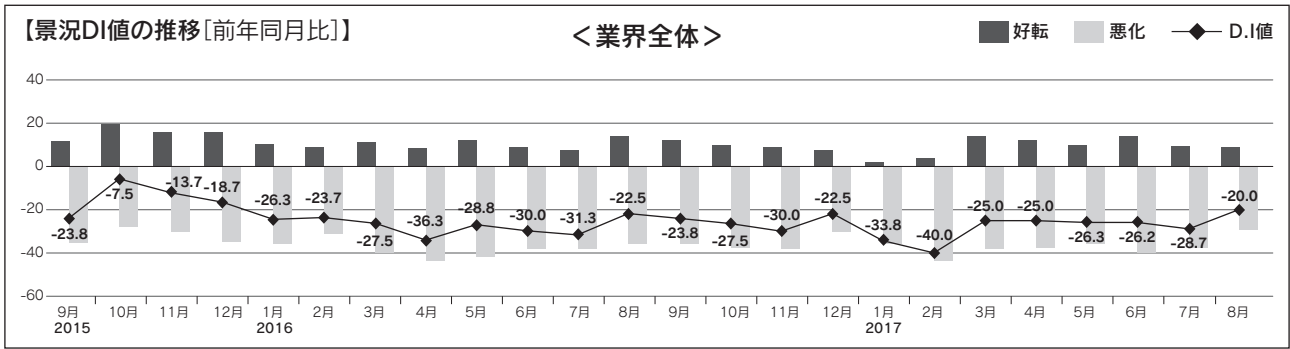
【凡例】 快晴 30以上 晴れ 10以上 30未満 くもり △10以上 △30未満 雨 △10未満 △10未満 雷雨 △30以下
 【天気図の見方】 前年同月のDI値をもとに作成しています。

※DI値とは、Diffusion Index(ディフュージョン・インデックス)の略で、増加(好転)したとする企業割合から、減少(悪化)したとする企業割合を差し引いた値です。

【業界の声】 ~製造業~

(回答数：32名 回答率：100%)

食 料 品 (パ ン)	天候不順(気温、雨)のため、売上は不振であった。油脂関係の原料価格の値上がりがか心配されている。
食 料 品 (菓 子)	お盆の帰省や祭りなどで人の動きはあったが、お土産品などの動きも客単価が下がり、全体的に良くなかった。
食 料 品 (清 酒)	清酒出荷量は1,228,056ℓで、前年同月比86.5%と前年を下回った。また、タイプ別では吟醸酒が前年同月比101.1%であったが、純米酒、本醸造、レギュラー酒については前年同月を下回った。
食 料 品 (米飯給食)	8月の売上は、コンビニエンスストア部門が厳しいものの、大手スーパーチェーン、特注弁当、宅配弁当、学校給食部門では前年同月比を上回り102.2%であった。収益状況については海苔・米等の原材料上昇に加え、光熱費の増加により減益の見込みである。
織 維 工 業 (ニ ッ ト)	秋冬物生産の最盛期でキャパシティは埋まっている。先月に引き続き加工賃は厳しい。
織 維 工 業 (織 維)	受注状況は少し上向いてはいるが、前年度との比較では厳しい状況にある。加工賃についても厳しい状況が続いている。
木 材・木 製 品 (一 般 製 材)	4月から8月の製品販売量は前年比増加(106%)しているが、販売価格は据え置きとなり、収益面は好転していない。
木 材・木 製 品 (外 材)	秋田港にカナダ産針葉樹5,283㎡の入港があった。減少が危惧された住宅着工については、低金利による個人住宅や相続税対策の賃貸住宅建築が依然堅調なこともあり、高水準を維持しており、合板メーカーは増産体制を継続している。
窯 業・土 石 製 品 (生コンクリート)	8月の出荷数量は、前年比107%台、4月～8月累計で96.0%と予想される。8月は前年を上回ると思われるが、各地区とも9月以降は大型物件もなく全く不透明の状況にある。
鉄 鋼・金 属 (鉄 鋼)	7月頃より官民共に物件がかなり出てきており、各社共に100%以上の稼働で推移している状況で、受注物件も年内確保している所が多く、暫くはこの状況で推移していくものと考えられる。



【業界の声】 ~非製造業~

(回答数：48名 回答率：100%)

- | | |
|--------------------|--|
| 卸売業
(青果) | 8月の売上は、前年同月比95.1%で推移した。東日本を中心に天候不順により日照不足で生育が遅れ、出荷量が減り夏野菜の卸値が上昇している。県内のスイカ、メロンの出荷量も前年比3割減となっている。 |
| 卸売業
(米麦卸) | 平成29年度産米の収穫の準備に当り、関東圏の生産者仮渡金単価のレベルが高く、これから決められる秋田県の仮渡金単価の動向が気かりである。 |
| 小売業
(自動車) | 8月の新車販売台数は、登録自動車が1,946台(前年同月比108.5%)、軽自動車が1,486台(同108.2%)で、合計3,432台(同108.4%)であった。軽自動車は5カ月連続して前年同月を上回った。 |
| 商店街 | 食料品、身の回り品については前年並みの売上げ、家電販売についてはクーラーが売れたことで前年比増となった。(秋田市)

中心商店街でイベントが行われ活気があった。飲食店や小売店では店頭に出した屋台で売上増を図り、通常月よりは売上が増加した。(湯沢市) |
| サービス業
(タクシー) | 乗務員の減少に加え、平均年齢は62.4歳となっており、業界での新規応募者も少なく少子高齢化現象となっている。 |
| 建設業
(管工事) | 7月、8月の大雨による災害復旧のため、特に土木工事に工期延長が必要な事例が発生しており、労働者不足も深刻な状況となっている。(中央地区) |
| 建設業
(電気工事) | 盆明けに工場やマンションなど大きな建物の新築があり、低迷していた今年度の物件に動きが出てきている。この傾向は多少続くものと期待しているが、一般住宅は動きが悪い。(中央地区) |
| 運輸業
(トラック) | 8月の輸送貨物は増加傾向であるが、例年の繁忙期とまではいっていない模様。売上は前月、前年同月よりも増加している。収益についても前月、前年同月ともに多少増加している。今月以降は、米の収穫期に入るので期待できるのではないかと。(県南地区) |
| その他の非製造業
(砂利採取) | 生コン用骨材の出荷量は昨年と同程度であるが、リサイクル材の出荷が若干増加した。(県南地区) |